



脳外触診セミナー

～臨床の**ヒント**になることがら～

【 **後頭葉**について 】

見るからはじめよう

2026年6月10日(水)

20:00～21:00

脳外臨床研究会 山上拓

6月後頭葉 → 7月頭頂葉 → 8月側頭葉 → 9月前頭葉

見えていますか？



認識できていますか？



意味が理解できてますか？



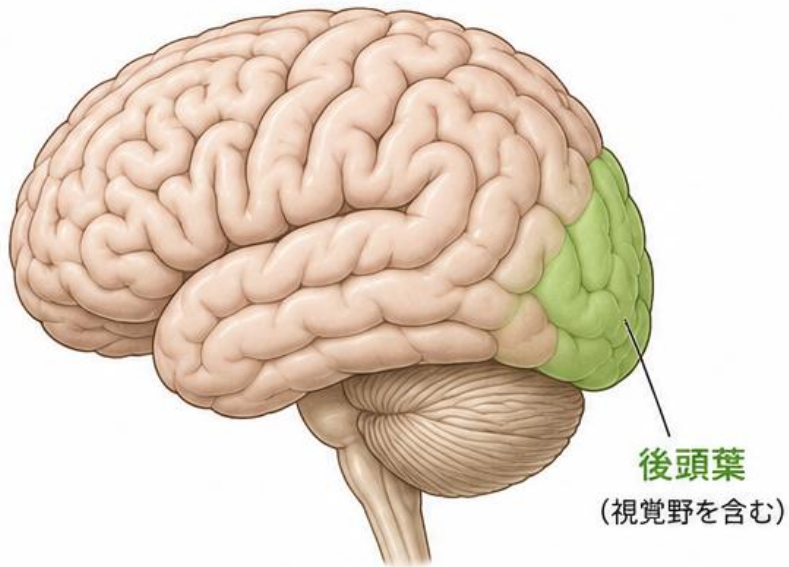
行動へ移せていますか？

今回の目的：後頭葉の機能を知ること～

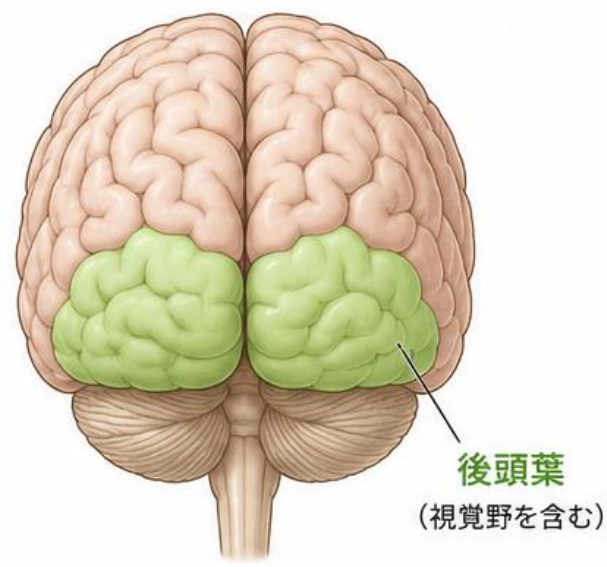
- 人間が行動にうつす最初の段階を理解できる。
- 「見る」は臨床でもよく使うこと、
臨床にもこの「見る」を理解することで
治療の幅が広がる。
- 後頭葉が障害された患者さんのイメージができる

後頭葉：“見る”から始めよう！ 後頭葉は視覚入力の中樞です！

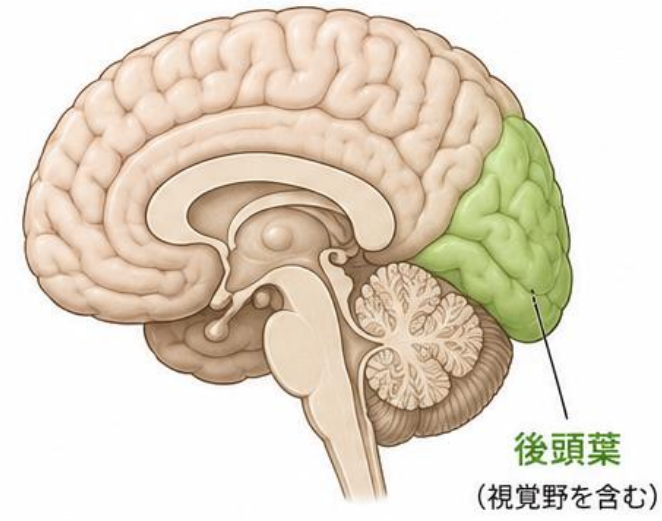
側面図（左大脳半球）



後面図



内側面図（左大脳半球）



後頭葉の中心は「一次視覚野(V1)」であり、ここで受け取った視覚情報が連合野で更に複雑に処理されます。

V1の論文紹介

- V1は「見えるための基本情報を解析する場所」であり、視覚連合野は「見えたものに意味を与える場所」である。
- 一次視覚野(V1)は単なる視覚情報の中継地点ではなく、視覚情報を高度に分析する重要な解析装置です。

後頭葉 V1 が障害されると

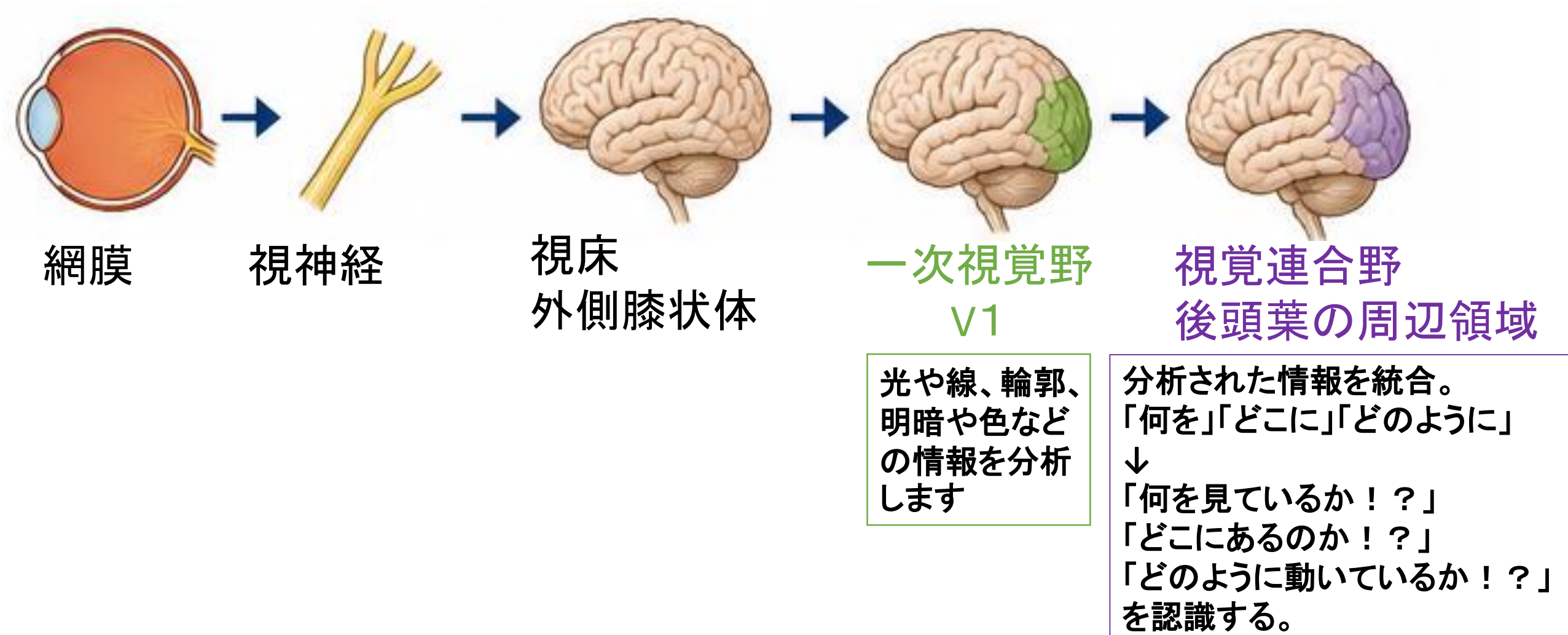
臨床において、
これだけでは不十分！？



視覚情報の処理の流れ

視覚情報は段階的に処理

視覚連合野で「意味のあるもの」として認識



視覚連合野が損傷すると起こる事

視覚知覚システム

まとめると

- 視覚注意ネットワーク(後頭葉－頭頂葉－前頭葉)」の観点が重要
- 単に「視覚」は「目で見える」だけのシステムだけでなく、
「何に注意を向けるか」
「どこを見るか」
「見た情報をどう行動につなげるか」
を制御する脳内ネットワークが重要。
- 特に臨床では、後頭葉 → 頭頂葉 → 前頭葉をイメージ出来ればいい！

今回の目的：後頭葉の機能を知ること～

- 人間が行動にうつす最初の段階を理解できる。
- 「見る」は臨床でもよく使うこと、
臨床にもこの「見る」を理解することで
治療の幅が広がる。
- 後頭葉が障害された患者さんのイメージができる



脳外触診セミナー

～臨床の**ヒント**になることから～

【 **頭頂葉**について 】
情報を**変換**しよう

2026年**7**月**8**日(水)

20:00～21:00

脳外臨床研究会 山上拓